

# 小学校音楽科教育 実技研修会 終了報告

テーマ	小学校ボディパーカッションの指導法について	
日時	平成28年 6月21日(火)	
会場	石狩市立花川南小学校	
講師	山田 俊之 氏(九州女子短期大学特任教授)	
参加者	約30名	
研修会 の 様子		<p>公開授業は、スネアドラムの軽快なリズムに合わせて「山ちゃんの 楽しい リズムスクール!」というかけ声から始まり、あっという間に子どもたちの心をつかむ、とても楽しい授業となりました。子どもたちは、手拍子→足踏み→サンバのリズムなど、全身を使ってリズムを表現していました。</p> <p>最後に、山田先生からのご褒美として、山田先生一人で全身を使ったボディパーカッションを見せていただきました。体の叩く場所によって、さまざまな音が表現されていて、子どもたちは目を丸くしながら夢中になって見つめていました。</p>
		<p>授業後の実技研修会では、「自分の意思を相手に伝える力」コミュニケーション能力についてお話いただき、身振りや手振り、表情が非常に大切であるということから、参加者全員で「みなさんリズム」「花火」「手拍子の花束」に挑戦しました。</p>
		<p>様々な実践の映像を見ながら、実際に参加者の先生方に体験させてくれました。</p>
		<p>なかなか自分を出すことができない児童に対しては、セーフティーゾーンを用意してあげること。また、お互いを認め合う場を大切にするすることで、児童の自己肯定感を高めていくなど、子どもたちの心をあたたかく解きほぐすポイントを教えていただきました。</p>